



鹿児島市商工業振興プラン

多彩な人と 豊かな資源で 織りなす にぎわい活力都市・かごしま

概要版



基本構想

策定の目的

我が国は、景気の低迷が長期化するとともに、少子高齢社会の進行、経済のグローバル化、情報通信技術（ICT）の進展、地球環境問題の深刻化など社会経済情勢が大きく変化しています。

本市においても、このような変化に加え、平成23年3月に九州新幹線鹿児島ルートが全線開業するなど、商工業を取り巻く環境が大きく変化しています。

本市は、これまで第三次産業を中心とした南九州の交流拠点都市として発展してきましたが、人口減少社会を迎え、都市間競争がさらに激化する中で、今後も本市商工業が持続的に発展していくためには、全線開業による効果を最大限に生かすとともに、社会経済情勢の変化や地域特性等を踏まえる中で、中長期的視点に立った商工業振興の取組みが必要となっています。

本市としては、「新成長戦略」や「中小企業憲章」など国の動向等も踏まえる中で、地域経済の重要な担い手である中小企業を中心とした商工業の振興を図るため、その基本計画となる「鹿児島市商工業振興プラン」を策定するものであり、本プランを推進することにより、にぎわいと活力の創出、そして安定的な雇用の確保につなげようとするものです。

位置付け

本プランは、鹿児島市総合計画の商工業分野の個別計画として、今後の本市商工業振興の基本計画となるものであり、市、国・県など関係機関、民間、大学等が一体となって取り組むものです。

構成と期間

本プランは、本市商工業の現状と課題、ポテンシャルを整理し、商工業の将来像と、その実現に向けた商工業振興の方向性で構成される「基本構想」、商工業振興の方向性に基づく基本方針、推進施策からなる「アクションプラン（行動計画）」、将来像の実現に向けて重点的かつ戦略的に取り組む施策を掲げた「戦略プロジェクト」、成果指標や推進体制からなる「商工業振興プランの推進に向けて」により構成されます。

本プランの計画期間は、平成23年度を初年度とし、平成33年度までの11年間とします。

なお、今後の社会経済情勢の変化や施策の進捗状況等も踏まえ、プランを変更する必要がある場合には見直しを行います。

【鹿児島市商工業振興プランの構成】

基本構想

アクションプラン（行動計画）

戦略プロジェクト

商工業振興プランの推進に向けて

本市商工業の将来像

多彩な人と 豊かな資源で 織りなす にぎわい活力都市・かごしま

本市商工業が将来に向けて、持続的に発展していくため、多様な業種の様々な能力・技術を有する「多彩な人」が、農林水産物、自然風土、歴史・文化、伝統技術などの「豊かな資源」を最大限に生かし、多様な主体との連携・協働等により、新たな魅力・価値を「織りなす」ことで、南九州の中核都市として、「にぎわいと活力」あふれるかごしまの創造を目指します。

将来像の実現に向けた商工業振興の方向性

商工業振興の方向性 1 かごしまの地域資源・特性を生かした産業の活性化

豊かな農林水産資源等の「素材」を生かして本市商工業の競争力を高めるとともに、地域資源やアジアとの近接性などの特性を生かして、国内外との「交流」、「観光」の促進を通じた産業の活性化やアジアを中心とした海外との取引強化に取り組みます。

商工業振興の方向性 2 かごしまの将来を牽引する新たな産業の創出

食品加工に関する技術の蓄積や集積する学術・研究機関等の存在、国の新成長戦略などを踏まえ、産学官の多様な連携・協働を促進しながら、「環境」、「健康」などの成長分野に関連する新産業の創出に取り組みます。

商工業振興の方向性 3 かごしまを支える産業の成長促進

社会経済情勢の変化による消費動向の変化やニーズの多様化に対応し、本市商工業の中核をなす商業・サービス業の活性化を図るとともに、伝統産業の事業革新等による活性化や都市機能の集積などのポテンシャルを生かした産業の振興に取り組みます。

商工業振興の方向性 4 かごしまの将来を担う企業・人材の育成

事業者が抱える課題の解決を図り、刻々と変化する社会経済情勢に対応するため、関係機関のネットワークを強化して、企業経営の安定と革新を支援するとともに、新たなチャレンジへの支援と人材の育成・確保に取り組みます。

商工業振興プランの推進に向けて

成果指標

指標項目	基準年	実績値	目標年	目標値
食料品製造業における粗付加価値額（従業者4人以上）	平成20年	46,232百万円	平成33年	49,600百万円
海外の見本市等への延べ出展事業者数	平成21年度	58社	平成33年度	68社
産学連携等により製品・商品化された件数	平成19～22年度	14件（累計）	平成23～33年度	88件（累計）
トライアル発注制度認定件数	平成20～22年度	14件（累計）	平成23～33年度	66件（累計）
卸売業・小売業の年間商品販売額	平成19年	2,536,515百万円	平成33年	2,540,000百万円
製造品出荷額等（従業者4人以上）	平成20年	378,471百万円	平成33年	400,000百万円
企業立地件数	平成20～22年度	10件（累計）	平成23～33年度	44件（累計）
事業所数（民営） ※農林漁業を除く	平成18年	29,057事業所	平成33年	30,000事業所
従業者数（民営） ※農林漁業を除く	平成18年	257,941人	平成33年	259,000人

※企業立地件数の実績値は平成22年9月末時点。

推進体制

本プランの着実な推進を図るため、プランに掲げた施策の実施状況や成果指標の達成状況等を報告し、施策の見直しや新たな施策展開等について意見・提案をいただくため、学識経験者、経済団体、行政等で構成する「鹿児島市商工業振興プラン推進会議（仮称）」を設置します。

- 施策の進捗状況の把握
- 成果指標の達成状況の把握
- 状況の変化に応じた施策などの見直し
- 状況の変化に応じた新たな施策などの提案
- 社会経済情勢の変化や施策の進捗状況等を踏まえたプランの見直し検討 など

基本構想

社会経済情勢の変化を見据えて、

本市商工業の現状及び特徴、事業者が抱える主な課題を踏まえ、

商工業振興のポテンシャルを最大限生かすことを視野に入れて、

将来像の実現に向けて、商工業振興の方向性を設定

アクションプラン(行動計画)

基本方針

基本方針1 かごしまの農林水産資源等の「素材」を生かした産業振興
都市間競争が激化する中で本市の優位性を発揮するため、豊かな農林水産資源が集まる強みを生かし、これらを活用した新商品・サービスの開発や販路拡大などを促進する「かごしまの農林水産資源等の「素材」を生かした産業振興」に取り組みます。

基本方針2 国内外との「交流」、「観光」を生かした産業の活性化
新幹線の全線開業や海外とのネットワークを生かし、交流人口の増加に伴う市内における消費を促進するとともに、多様な都市間交流を生かして企業活動の活性化を図るなど、「国内外との「交流」、「観光」を生かした産業の活性化」に取り組みます。

基本方針3 アジアへの近接性などを生かした「海外取引」の強化
貿易・流通関連基盤の機能強化や整備促進を図るほか、海外取引に関する支援機関等との連携のもと、海外への販路拡大を図るなど「アジアへの近接性などを生かした「海外取引」の強化」に取り組みます。

基本方針1 「環境」、「健康」などの成長分野に関連する新産業創出
地球環境問題の深刻化や少子高齢化の進行などが見込まれる中、本市の特性や地域資源を生かした取組みをさらに進めるとともに、企業間や産学間のネットワーク強化により、新産業創出に向けた取組みの促進や関連する企業立地推進など、「環境」、「健康」などの成長分野に関連する新産業創出」に取り組みます。

基本方針2 新産業創出のための「多様な連携」の強化
事業者と地域に存在する学術・研究機関等のネットワークを強化し、成長分野に関連する技術革新や新商品・サービスの開発、販路開拓などの新産業創出に関する取組みを促進するため、産学官が連携して、情報の共有化や提供を行うなど、「新産業創出のための「多様な連携」の強化」に取り組みます。

基本方針1 地域の特性やニーズに対応した商業・サービス業の活性化
天文館をはじめとする中心市街地や地域の買い物の場である商店街などについて、南九州における商業・サービス業の中心地としての機能の充実や快適な買い物環境を整備するとともに、様々な生活情報を得ることのできる地域コミュニティの場としての役割を維持・強化していくため、市民、事業者、行政機関などが一体となって「地域の特性やニーズに対応した商業・サービス業の活性化」に取り組みます。

基本方針2 事業革新等による「ものづくり」、「伝統産業」の活性化
本市のものづくり産業や伝統産業は、厳しい事業環境を克服するため、地域資源を生かした新たな取組みが必要になっていることから、意欲のある事業者の商品開発や製品の付加価値化、販路拡大の促進など、「事業革新等による「ものづくり」、「伝統産業」の活性化」に取り組みます。

基本方針3 都市機能の集積を生かした産業の振興
本市の都市機能の集積を生かした「情報関連」や「コンテンツ」、「デザイン」などの知識集約型産業を育成・支援するとともに、コールセンター業などの企業立地推進に取り組むなど、「都市機能の集積を生かした産業の振興」に取り組みます。

基本方針1 企業経営の「安定と革新」
本市商工業の大部分を占める中小企業の経営力の向上を図るため、中小企業の経営基盤の強化や事業承継の円滑化、生産性向上の促進など、「企業経営の「安定と革新」」に取り組みます。

基本方針2 関係機関の「ネットワーク」の強化
本市には、中小企業等の経営や事業展開を支援する多様な機関が集積し、それぞれが各種支援に取り組んでおり、各機関が持つ支援内容や情報を共有し、相互に連携させることで、事業者にとってさらに効率的・効果的な支援となることから、「関係機関の「ネットワーク」の強化」に取り組みます。

基本方針3 「チャレンジ」への支援と「人材」の育成・確保
働く意欲を持つ全ての人が個々の能力を生かし、いきいきと働くことのできる社会を目指し、企業が求める人材の育成や市内企業への就労促進など、「チャレンジ」への支援と「人材」の育成・確保」に取り組みます。

商工業振興の方向性

方向性 1

かごしまの地域資源・特性を生かした産業の活性化

方向性 2

かごしまの将来を牽引する新たな産業の創出

方向性 3

かごしまを支える産業の成長促進

方向性 4

かごしまの将来を担う企業・人材の育成

多彩な人と豊かな資源で織りなすにぎわい活力都市・かごしま

商工業振興に係るポテンシャル

豊かな農林水産資源の存在

知名度の高い「食」の存在

食品加工に関する技術の蓄積

多様な学術・研究機関等の存在

九州新幹線全線開業による交流人口の増加

南九州最大の商業集積

魅力的な観光資源の集積

アジアとの近接性

中核都市としての各種都市機能の集積

多彩な支援機関の存在

本市商工業の現状及び特徴

■全産業(民営)の事業所数の減少
■従業者数4人以下の事業所比率が高い

■集積の薄い製造業
■事業所数・従業者数・製造品出荷額等の減少
■食料品製造業の集積

■集積の厚い卸売業
■事業所数・従業者数・年間商品販売額の減少

■集積の厚い小売業
■事業所数・従業者数・年間商品販売額の減少

■サービス業の集積の進展
■医療・福祉業の集積

■伝統産業の出荷額の減少

■情報通信関連を中心に進む企業立地

■アジアとの結びつきが強い貿易

■厳しい雇用情勢

本市商工業事業者が抱える主な課題

マーケティングの強化

商品・サービスの競争力強化

プロモーションの強化
国内外への販路拡大

ビジネスモデルの革新
新事業の創造

人材育成
労働力の確保

社会経済情勢の変化

少子高齢社会の進行・人口減少社会の到来

厳しい財政状況と都市間競争の激化

経済のグローバル化の進展

情報通信技術(ICT)社会の進展

地球環境問題の顕在化・深刻化

価値観・ライフスタイルの多様化

経済政策に係る国の基本方針

本市を取り巻く環境変化

戦略プロジェクト

推進施策

主な取組み内容

(1) ブランド力の強化に向けた取組みの推進	①: 企画・デザイン力の向上、販路拡大に向けた取組みの促進 ②: 戦略的なプロモーションの推進
(2) 農工商等連携の促進	①: 農工商等連携の取組みに向けた交流機会の提供 ②: 農工商等連携の取組みに対する支援 ③: 民間による農工商等連携支援に係る取組みの推進
(3) 自然資源を生かしたビジネスの促進	①: 自然資源を生かした新商品開発の促進 ②: 自然資源を生かした新たなサービス提供の促進
(4) 新製品開発・付加価値向上・販路拡大の促進	①: 新製品開発等に対する支援 ②: 大学等と企業の共同研究開発に向けたマッチング機会の提供 ③: 見本市への出展促進など販路拡大への支援
(5) 地産地消の推進	①: 生産者と市民の交流イベントの開催など地産地消の普及啓発の推進 ②: 「かごしま地産地消推進店」の加入促進
(6) 食関連分野の企業立地推進	①: 鹿児島県の食資源のPR等による企業立地に向けた活動の充実 ②: 優遇制度の充実など魅力ある立地環境づくり
(1) 観光振興に関する計画の推進	①: 観光振興に関する計画に基づく事業の推進
(2) 観光客等のニーズに対応した商品・サービスの充実	①: 「食」の新メニュー開発やまち歩きなど新商品・サービスの開発の充実 ②: グリーン・ツーリズムなど新たな観光ビジネスの創出・促進 ③: 外国人観光客受入体制の充実(銀聯カード決済システム導入、接遇・通訳の充実など)
(3) 都市間連携による企業活動の活性化	①: 製品・技術等の共同プロモーションなど都市間連携事業の推進
(4) 姉妹都市等とのつながりを生かした交流の推進	①: 姉妹都市、友好都市との経済交流の推進 ②: アジア地域との経済交流の推進
(1) 海外への販路拡大の促進	①: 海外の見本市等への出展支援 ②: 海外バイヤーの招へい ③: 特産品等のプロモーションの推進
(2) 海外取引に関する支援機能の充実	①: 海外取引に関する情報提供の充実 ②: 海外取引に関する相談機能の充実
(3) 貿易・流通関連基盤の整備促進	①: 港湾関連施設等の整備促進 ②: 流通関連基盤の整備促進
(4) 鹿児島港の利用促進	①: ポートセールス等の展開
(1) 新産業創出に向けた取組みの推進	①: 新産業創出に向けた研究会の設置 ②: 新産業創出推進体制の整備
(2) 成長分野における事業者の取組みの促進	①: 異業種交流会やセミナー等の開催 ②: 新産業創出に関連する事業者の取組みへの支援 ③: 販路拡大への支援
(3) 成長分野におけるベンチャー企業等の育成	①: ベンチャー企業等の取組みへの支援
(4) 成長分野に関連する企業立地推進	①: 優遇制度の充実など魅力ある立地環境づくり
(1) 産学官連携体制の強化	①: 研究シーズ等の横断的な情報共有体制の強化 ②: 他地域の類似機関との連携強化
(2) 企業間連携による研究開発の促進	①: 共同研究開発に対する支援 ②: 国等の競争的資金に係る情報提供や申請手続き等に関する支援の充実
(3) ビジネスマッチング機能の強化	①: ビジネスマッチングに係るコーディネート機能の充実
(1) 「中心市街地活性化基本計画」の推進	①: 「中心市街地活性化基本計画」に基づく事業の推進
(2) 地域に根ざした商店街づくりの促進	①: 商店街の共同施設整備に対する支援 ②: 商店街の独自のアイデアや創意工夫による取組みに対する支援
(3) 魅力ある個店づくりの促進	①: 地域の個店同士が連携した取組みへの支援 ②: 地域の繁盛店づくりのためのセミナーの開催や講師の派遣等
(4) 商業・サービス業に関する情報発信の充実	①: セミナーの開催等による事業者の情報化への取組みに対する支援 ②: ICTを活用した販路拡大への取組みに対する支援
(5) ソーシャルビジネス等の成長促進	①: 普及啓発セミナー等の開催 ②: 相談対応など創業支援の充実 ③: 市民ニーズや社会的課題に対応した取組みへの支援
(1) 製品の高付加価値化の促進	①: 製品の高付加価値化の取組みへの支援 ②: 特色ある事業者・製品のPR
(2) 製品の販路拡大の促進	①: 製品の認知度向上のためのPRの充実 ②: 見本市への出展促進など販路拡大への支援 ③: 製造業者と流通業者等とのマッチング機会の提供
(3) 企業間連携による研究開発の促進	①: 異業種交流など事業者同士のマッチング機会の充実
(4) 先端技術分野における連携強化	①: 大学や研究機関と製造業者のマッチング機会の充実 ②: 大学等と製造業者の共同研究開発に対する支援
(5) 事業拡張・事業革新の促進	①: 設備の増設など事業拡張に対する支援 ②: 事業革新・事業転換に対する支援
(1) 知識集約型産業等の育成支援	①: インキュベーション施設への入居など創業支援の充実 ②: プロジェクト化に向けた交流機会の提供 ③: 共同研究開発に対する支援
(2) 都市機能の集積を生かした企業立地推進	①: 優遇制度の充実など魅力ある立地環境づくり ②: 立地推進体制の充実
(1) 中小企業の経営基盤の強化	①: 事業者のマーケティング力の強化に向けた支援の充実 ②: 事業者の円滑な資金調達など経営安定化への支援 ③: 官公需の推進
(2) 事業承継等の円滑化	①: 事業承継に関する支援 ②: 技術の継承に関する支援
(3) 知的財産の保護・活用の促進	①: 知的財産の保護・活用に関する情報提供 ②: 知的財産の保護・活用に関する支援機能強化
(4) ICT導入等による生産性向上の促進	①: ICT導入等による生産性向上に関する普及啓発の推進 ②: 情報関連事業者と異業種の事業者との連携の促進
(1) 関係機関の情報共有の促進	①: 関係機関担当者との情報共有の場の設置
(2) 関係機関の連携による取組みの強化	①: 関係機関との連携による総合的な情報提供の充実 ②: セミナーや施策説明会等の共同開催
(1) インキュベーションの促進	①: 起業意識の向上のための普及啓発 ②: 起業への支援 ③: インキュベーション施設の機能強化
(2) 企業が求める人材の育成	①: 企画・事業化をリードする人材の育成 ②: 事業のグローバル展開を支える人材の育成 ③: 大学等における産業振興に係るカリキュラムの充実
(3) 市内企業への就労促進	①: 市内企業が求める人材マッチングの支援 ②: 若者をはじめとする求職者の就労促進 ③: U・Iターン希望者の就労促進 ④: 勤労者福祉の充実

「商工業の将来像」の実現に向け、重点的かつ戦略的に取り組む施策

戦略プロジェクト 1

“豊富な食資源を最大限生かす” 『“食の都 かごしま”創造プロジェクト』

かごしまの豊かな農林水産資源や知名度の高い「食」の存在、食料品製造業の集積など本市の強みや特性を最大限生かし、農工商等の事業者間の連携を促進することにより、新たな商品・サービスの開発や積極的な販路拡大を進めます。さらに、「食」に関するプロモーションの充実やブランド力強化への取組みを推進し、「食の都」としての知名度を高め、商工業の活性化を図ります。

【主な取組内容】

- 農工商等連携による新製品開発促進のための交流機会の提供や取組みへの支援
- 新製品開発等に対する支援
- “美味のまちかごしま”を体感できるような食の新メニュー開発やイベント等の開催
- 事業者の食品見本市等への出展の促進など販路拡大に向けた取組みに対する支援
- 鹿児島県の食資源のPR等による企業立地に向けた活動の充実、優遇制度の充実

戦略プロジェクト 2

“大交流時代、国内外に存在感をアピール” 『“外貨”獲得プロジェクト』

九州新幹線の全線開業による交流人口の増加や近接しているアジア諸国の急速な経済成長という絶好の機会を捉え、国内外への積極的なプロモーションによる観光客等の誘致や商品・サービスのPRを進めます。さらに、観光客等の受入体制の充実やかごしまの豊かな地域資源を生かした観光ビジネスを創出することにより、市域内における消費の増加を図るとともに、事業者の海外市場に向けた販路開拓を支援するなど、市域外からの“外貨”獲得に取り組めます。

【主な取組内容】

- 新幹線沿線都市やアジア主要都市への重点的なプロモーションの推進
- 観光客受入体制の充実(銀聯カード決済システム導入、接遇・通訳の充実など)
- グリーン・ツーリズムなど新たな観光ビジネスの創出・促進
- 都市間連携による事業者の製品・技術等の合同プロモーションを通じた販路拡大
- 事業者の海外見本市等への出展の促進など販路拡大への支援
- 事業のグローバル展開を支える人材の育成

戦略プロジェクト 3

“地域資源を生かし、未来を切り拓く” 『新産業創出プロジェクト』

少子高齢化の進行や地球環境問題の深刻化、消費者ニーズの多様化など社会経済情勢の変化を踏まえ、今後さらに需要の拡大が見込まれる「環境」、「健康」などの成長分野における産学官の様々な主体の連携・協働を促進します。また、本市の特性や地域資源を最大限に活用し、新たな付加価値を生み出す取組みを進めることにより、本市商工業の将来を担う産業の活性化や雇用の創出を図ります。

【主な取組内容】

- 「環境」、「健康」などの成長分野に関連する新産業創出に向けた研究会の設置及び推進体制の整備
- 事業者による共同研究開発など新産業創出に関連する取組みへの支援
- トライアル製品の利用促進など販路拡大への支援
- 成長分野に関連する立地企業の優遇制度等の充実